

つくろう 伸ばそう 鹿沼の文化

かぬま文化

No.184

発行人 鹿沼市文化協会
発行責任者 会長 鈴木 貢
編集委員会 委員長 小林 夏江
印刷所 晃南印刷(株)

令和8年度通常総会報告

鹿沼市文化協会創立50周年記念事業「黒川伊保子講演会」実施

天候に恵まれた5月16日(土)に令和8年度通常総会を、かぬまケーブルテレビホール(鹿沼市民文化センター)大会議室で開催いたしました。

ご来賓は、松井正一市長をはじめ、湯澤英之県議、大貫毅県議、片柳伸一商工会議所会頭、谷中恵子市議会議長、福田義一副市長、市議会教育福祉常任委員会の鹿妻武洋副委員長、早川勝弘委員、教育委員会から中村仁教育長、そして文化協会の西山義信参与、岩本久美子参与のお二人、併せて11人のご臨席をいただきました。

鈴木貢会長の主催者



大貫毅県議会議員



谷中恵子鹿沼市議会議長



松井正一鹿沼市長

「フェスティバル」の成果を報告しました。それぞれの体験教室では定員をオーバーし、改めて「お茶やお花」の人気を確認でき、これからの若い世代に広げていこうと気力が沸いた事業でした。

また、今年は鹿沼市文化協会が創立50周年を迎える年となることから、記念事業として「黒川伊保子講演会」を開催し、文化のちからを継続していこうと宣言をいたしました。

続いて、今年度の鹿沼市文化協会文化功労者の表彰を行いました。永年のご尽力を称え、鹿沼市文化協会会長・文化サークル「みちくさ」代表の鈴木貢氏に表彰状を授与しました。

さらに、鹿沼市文化協会副会長・「絵手紙鹿友会」代表の高橋進氏へ令和8年度春の



会員表彰 鈴木貢氏(左)・「藍綬褒章」受章高橋進氏(右)

「藍綬褒章」受章に対し、その栄誉を称え、お祝い金と花束の贈呈をいたしました。

次に来賓を代表して松井正一市長、谷中恵子市議会議長、大貫毅県議会議員の3名からご祝辞を頂戴しました。

総会前の呈茶席では、会員の皆様が始終楽しく過ごされている様子に、文化協会はたくさんの方で支えられていることを実感し感謝する日となりました。

(事務局 福田由子)

目次	
令和8年度通常総会報告	1
鹿沼市文化協会創立50周年記念事業	1
「美術」という名のもとに	2
「絵手紙」を始めてみませんか	2
書の楽しみかた	3
HJグループ企業理念の	3
揮毫企画をお受けして	3
鹿沼市民文化祭開催日程	4
編集後記	4

第48回

鹿沼市民文化祭

つくろうのはそう 鹿沼の文化

令和8年 9月26日(土) ~ 12月6日(日)

鹿沼市文化協会創立50周年記念事業 黒川 伊保子講演会

～脳科学からみた「文化のちから・生きるちから」～

第48回鹿沼市民文化祭開幕式アトラクション 鹿沼市文化協会第16回文化セミナー

9月26日(土) 開場13:00/開演13:30

かぬまケーブルテレビホール(市民文化センター)小ホール

整理券配布場所 文化協会事務所・かぬまケーブルテレビホール・鹿沼市民情報センター・鹿沼市立図書館本館

整理券配布日 令和8年8月1日(土)～

大人気トリセツシリーズ著者 黒川 伊保子氏

「美術」という名のもとに

鹿沼市美術協会 副会長 川津 正己

「鹿沼市美術協会の目的は、会員相互の親睦と鹿沼市美術の健全な発展・普及を図るものとする」

つまり、美術が好きであることが大切な要因となる。とはいえメンバーが制作するジャンルは広く、大同団結的な集団である。

だからこそ長続きしている。ここに載せた写真は美術協会展の折りのものだが、各自が思い思いの作品を出品し笑顔で写っている。この雰囲気がある限り、まだまだ続いていくだろう。絵画、版画、彫刻、工芸など雑駁に分けたがこれらの作品を発表し、自らを高めていくことをする意欲を会員は持っている。

そして共通



第41回鹿沼市美術協会展

することとして、写生会があり、研修旅行がある。ともに同じ体験をして資質向上に努めている。

普及という点ではワークショップや絵画教室的なものに指導者や審査員として関与している。また手元に作品を置きたい人を対象に小品展も開催している。

例えば、今年の写生会は大谷へ行った。桜咲く時期で奇岩も目に

つく。そういう中で会員はそれぞれ違った場所をスケッチ場所として選ぶ。これが良いのである。決して画一化しない。それぞれが自分の思いを持っている。

ただ不安なのは二十代、三十代が少ないことである。世の流れ故か、その世代は多忙過ぎるのか、若手が育っていない。この点は今後の課題になるだろう。と同時に退職者の楽しみとして美術を選ぶことが生活の中に入ると生きている張り、つまり生きがいができる。それはどのジャンルを選んでも言えることである。そんな人たちへの支援も行っていたいと考えている。



「絵手紙を始めてみませんか」

絵手紙鹿友会 会長 高橋 進

昨今、手紙の需要が減り、郵政省も郵便料金値上げや翌日配達取りやめなど、土曜配達取りやめなど経営改善しようとしています。ポストに届く手紙は、ダイレクトメールや請求書、案内状やお礼状にしても、生成AIが作った文をコピーしたような、無機質なワープロ文字が並ぶ手紙がほとんどです。ぬくもりのある手書きの文字が一字も無いような風潮では、手紙は益々衰退する一方でしょう。

そこに「絵手紙で風穴を開けよう」というのは少々オーバーですが、私たちは絵手紙を「かいて楽しい。もらって嬉しい」を実感し実践している

ます。例えば何か贈り物が届いたとき、お礼をラインで済ますよりも、手間暇かけて絵を描き、その人ならではの、心を込めた言葉を添えた絵手紙を届けば、真心も一緒に届くと思います。

「絵手紙はヘタでもいい、ヘタがいい」ですが、言い替えば「全力で集中して心を込めてかけば、自分らしさ



令和7年度 第47回鹿沼市文化祭 心耕す絵手紙展

が出て、その自分らしさ「がいい」ということで、上手下手を超えます。自分らしさを大切にすることをお手本無しで、花や野菜など実物を見て描きます。字もお手本無しで読みやすい字を書き、言葉も時候のあいさつや、かしこまったあいさつは抜きにして、短くズバリ言いたい本題を書くのがポイントです。

今年の市民文化祭の『心耕す絵手紙展』（11月6・8日・文化活動交流館）では、10時と13時からの2回。各回先着15名で、無料の初心者向けの絵手紙体験教室を開く予定をしています。

「かきたい気持ちだけ」持ってきていただければ、どなたでもかけます。是非お出かけください。お待ちしております。



書の楽しみかた

鹿沼市書道連盟 会長 塚原 秀巖

私の故郷は「関の孫六」で有名な刃物の街、岐阜県関市です。

六歳から習字を始め、バレエボール部に所属しながら高校卒業まで続けました。塾の先生は小学校の校長を退職後、奈良県の今井凌雪先生に師事されていました。私は東京の大学に入学後、石飛博光先生に師事し、先生の勧めで作新学院高校に勤務し、現在に至っています。

栃木県には高校の書道教員で研鑽を積む機会が多くあり、書道教育の全国大会で研究授業を担当したことは貴重な体験でした。

書は教えることによって深く学ぶことができます。元高校教員であった師と共に教科書の編集に関わることは光栄であり、貴重な経験になりました。自分の作品が教科書に複数掲載されるとは夢のような話で

した。

現在、高校書道の授業では千五百年前に書かれた古典の文字を忠実に写す臨書から始まり、これは、古代の名人と同じ道具で追体験することで技術を習得し、鑑賞眼を養うことができるからです。絵画のデッサンと同じです。

書は、書いた時の心の動きが紙に表れます。古典を臨書すること、心と体の動きが洗練され、書く文字も変わっていきます。そして、様々な古典に触れること

で人間の幅が広がります。書の腕も上達していくのです。

書の美はリズムとバランスだと考えられます。



「光琳の月」第6回宇都宮美術の現在展(令和7年2月)

HSJグループ企業理念の

揮毫企画をお受けして

鹿沼市書道連盟 副会長 渡邊 司賢

この度、HSJグループ(ヘンリーシャインジャパンイースト株式会社)様より、企業理念の中枢をなす三つの心「誠実」「情熱」「自律」の揮毫依頼を承りました。

前身である株式会社岩瀬歯科商會が1926年に宇都宮に創業して以来、歯科医療の最前線を支え、人々の健やかな生活に寄与する事業を展開されていきます。

私がこのような機会を得ましたのは、創立記念の日本酒のラベルを菊の里酒造様(大田原市)と相談される中、かねてよりラベル揮毫

をさせていただいた日本酒「大那」の文字をご覧になり、その文字から力強さや静けさを感じていただいたことによりです。

身の引き締まる思いで筆をとり、それぞれの文字が力強くそして心に響く「書」として表現できるよう、特に書体の選定に意を用いました。

6月4日に東京国際フォーラムで開催された320人を超える盛大な100周年記念式典では、ス



菊の里酒造(株) 日本酒「大那」



東京国際フォーラムにて 渡邊司賢氏 左から2人目



テージ上で揮毫文字をご披露いただき、書家であることに大きな喜びと感謝の念を抱くことができました。

第48回 鹿沼市民文化祭開催日程

- ◆開幕式 9月26日(土)午後1時30分 かぬまケーブルテレビホール(鹿沼市民文化センター) 小ホール
 ◆アトラクション 鹿沼市文化協会創立50周年記念事業 黒川伊保子講演会
 ～脳科学からみた「文化のちから・生きるちから」～

部 会 名	期 日	時 間 (予定)	会 場
ホー ル 部 門	民謡民舞大会	10月4日(日)	10:00～16:00 市民文化センター 大ホール
	歌謡舞踊発表会	10月18日(日)	10:00～17:00 市民文化センター 大ホール
	音 楽 祭	10月24日(土)	13:00～15:00 情報センター マルチメディアホール
	演 劇 祭	10月25日(日)	11:00～15:00 市民文化センター 小ホール
	日 本 舞 踊	11月3日(火・祝)	13:00～17:00 市民文化センター 小ホール
	謡 曲 大 会	11月7日(土)	10:00～13:00 市民文化センター 小ホール
	パ ン ド	11月22日(日)	12:30～19:00 市民文化センター 小ホール
	吟詠剣詩舞大会	11月28日(土)	10:00～16:00 市民文化センター 小ホール
	ダ ン ス	11月29日(日)	13:00～18:00 市民文化センター 大ホール
	三 曲 大 会	12月6日(日)	13:00～16:00 市民文化センター 小ホール
ギャ ラ リ ー	書 道 展	10月16日(金)～18日(日) (18日16:00)	市民文化センター 多目的ギャラリー
	絵 手 紙 展	11月6日(金)～8日(日)	文化活動交流館 ギャラリー
	美 術 展	11月13日(金)～15日(日) (15日16:30)	文化活動交流館 ギャラリー
	写 真 展	11月20日(金)～22日(日) (22日16:00)	文化活動交流館 ギャラリー
	マンガ・イラスト展	11月21日(土)～22日(日) (22日16:00)	市民文化センター 多目的ギャラリー
生 活 文 化	フラワーデザイン展	10月3日(土)～4日(日) (4日16:00)	文化センター ふれあい広場
	華 道 展	10月17日(土)～18日(日) (18日16:00)	文化活動交流館ギャラリー
	茶 会	11月3日(火・祝)	10:00～14:30 市民文化センター 大会議室・和室
文 芸	短 歌 大 会	10月4日(日)	10:00～15:00 市民文化センター 大会議室
	俳 句 大 会	10月12日(月・祝)	9:30～15:00 市民文化センター 中会議室
	川 柳 大 会	10月18日(日)	9:30～16:30 市民文化センター 大会議室
	ふるさと史跡めぐり	11月1日(日)	9:30～正午 千手山仁王門前
	作 品 公 募	短歌・俳句・川柳・創作随筆・詩・歴史	
	文 芸 表 彰 式	11月22日(日)	13:30～ 市民文化センター 大会議室

※開演時間を変更する場合がありますので、ご了承ください。

編集後記

令和8年度鹿沼市文化協会
 通常総会が、5月16日(土)に、
 かぬまケーブルテレビホール
 で肅々と行われました。今回、
 鈴木貢会長が鹿沼市文化協会
 会員表彰、高橋進副会長が、
 「藍綬褒章」受章となり誠に喜
 ばしい限りです。令和8年度も
 順調なスタートを切りました。

そして芸術の秋。身近に迫っ
 た9月26日(土)に、鹿沼市文
 化協会創立50周年記念事業の
 「黒川伊保子講演会」が開催さ
 れます。また第50回栃木県文
 化振興大会が、令和9年1月30日
 (土)に、かぬまケーブルテレビ
 ホールで行われます。大きな事
 業が控えています。鹿沼市文
 化協会の会員の皆様方の団結
 及び協力で、益々盛り上げて親
 睦を深めていきましょう。

丙午。鹿沼市文化協会の行事
 が、すべて、うまくいきますよ
 うに。



編集委員 板橋和子

《編集委員会》

小林 夏江 板橋 和子
 寺崎 昌子 斎藤 千恵子
 大貫 宗正